

○11番（合田晋一郎）（登壇）

みらい新居浜、合田晋一郎です。

古川市長におかれましては、就任から1年が経過し、新年度予算の編成にも尽力いただいているところだと思います。

さて、12月1日には、新居浜駅前人の広場に、恒例のイルミツリーが設置されました。設置に尽力されたNPO団体の皆様のおかげで、今年は30分間隔で音楽と光の演出が加わり、より華やかに彩られています。イルミツリーのたもとには450センチメートル角のベンチが2基設置されています。これは愛媛県建築士会新居浜支部の取組による仮設で、大阪・関西万博の大屋根リングに使用された柱材と同じ木材を加工したものです。新居浜の企業が約400本の大屋根リングの柱材を加工した際に残された木材を活用したものであり、地域の技術と誇りを感じさせるものとなっています。

さらに、広場には世界へと飛躍されているアーティスト石村嘉成さんの絵画を用いた陶板モニュメントが団体の寄贈により、10月にお披露目されました。石村さんはEXPOアリーナで水樹奈々さんと共演されましたが、水樹さんが熱唱された「ちよおうさじゃ」も、新年にはカバーされるので、楽しみにしています。

古川市長も大変御苦労されたのではと推測しますが、90周年における太鼓台との共演にも大いに期待しております。

また、12月7日には金栄小学校PTAさんが設置された金栄ドリームツリーも点灯され、市内散策の新たな魅力的スポットとなっています。より一層、新居浜市が楽しい魅力的な町となることを期待し、通告に従いまして、質問させていただきます。

まず、古川市政1年の総括と今後の展望についてです。古川市長が就任されてから、早いもので1年が経過いたしました。市長は新しいにはまを掲げられ、市の魅力発信や情報発信の取組、さらには対話型行政の推進など、顔の見える、会える市長として、精力的に活動されている姿は大変頼もしく感じています。

そこでまず、この1年間を振り返り、市長御自身としてどのような感想をお持ちか、お聞かせください。市政運営に当たり、期待どおりに進んだ点、また逆に困難を感じられた点について、率直なお考えをお伺いしたいです。

さらに、市民に寄り添いながら市政を進める上で、市長が大切にされている理念や思いは何でしょうか。今後の市政運営において、その理念や思いをどのように具体的な施策へとつなげていかれるのか、展望をお聞かせください。

○議長（田窪秀道） 答弁を求めます。古川市長。

○市長（古川拓哉）（登壇） 合田議員さんの御質問にお答えいたします。

私の市政1年の総括と今後の展望についてでございます。

まず、1年を振り返っての感想についてお答えいたします。

私は市長就任以来、現場主義とスピード感を持った対応を基本理念とし、対話に基づく市政運営に取り組んでまいりました。この1年において、まちづくりタウンミーティングや校区行事、各種意見交換会等を通じて、多くの市民の皆様、企業、団体の皆様と対話を行い、地域課題や

ニーズを把握し、その上で、可能な限り迅速な対応を心がけ、市職員にもその指示を徹底してきたところでございます。

また、市職員との日常業務におけるコミュニケーションや市議会議員の皆様との議会での議論や意見交換を重ねることで、円滑な信頼関係を築けたと感じており、その点ではおおむね期待どおり進めることができたと認識しております。

一方、困難を感じた点といたしましては、急激な人口減少問題をはじめ、増大する社会保障費の捻出や公共施設の適正規模に向けた取組等といった、逼迫する財政面の立て直しなど、早期解決が困難な課題があることを実感した次第でございます。

今後におきましても、引き続きスピード感を持って諸課題に対応するとともに、市民や関係者の皆様との対話を市政運営の基本として、各種施策や私の公約の実現に向けて、全力で取り組んでまいります。

○議長（田窪秀道） 合田晋一郎議員。

○11番（合田晋一郎）（登壇）

ありがとうございます。特に市長の情報発信、毎週放送されていますDonDonにはまは、大変御好評を周りからいただいております。私も毎週楽しんでおりますので、今後ともより魅力的な発信をお願いいたします。

また、市長は多くの種をまかれています。ちなみに私が先日まいた花の種は、残念ながら1割ほどしか芽が出ませんでした。しかし、市長がまかれた種はより多くの芽が出て、大きく育っていくことを期待しております。